

こんにちは 新社会党



委員長 岡崎ひろみ

東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階 TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963

週刊新社会

2020年9月号

発行所：新社会党 発行者：岡崎ひろみ
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3階
TEL 03-6380-9960 FAX 03-6380-9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 164円 150円 41円

http://www.sinsyakai.or.jp E-mail: honbu@sinsyakai.or.jp

コロナ関係の給付金は年末で打ち切り このままではコロナ首切りが急増

政府・与党はコロナ対策の国会を開け

安倍首相は8月28日、健康問題を理由に突如辞任しました。5月25日の緊急事態宣言を解除した以降、感染拡大第二波といわれる今日まで、安倍首相はコロナ対策の国会開催を拒否したまま辞任しました。コロナ対策関係補償金は延長されたものの今年限りです。またコロナ感染は「自己責任」とされたままです。そして困窮者はより深刻に、休業者は失業者となつてしまっています。自公政権に国会開催を求め、早急にコロナ対策をさせましょう。

**休業支援金
年末で打ち切り**

安倍内閣が緊急事態宣言をする中、4月の休業者数が前年度比で420万人も急増し、597万人となりました。緊急事態宣言が解除された5月でも423万人が休業状態です。政府は賃金が出ていない休業者に対する補償として「休業支援給付金」を4月から9月まで、平均賃金の80%、日額1万1千円を上限として給付してきました。その給付金は延長されたものの年内で打ち切られます。

**コロナ解雇急増
9月には必至**

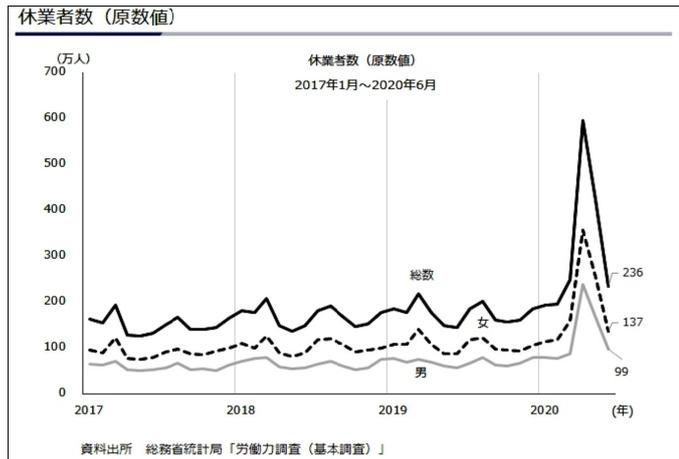
事業主に支払われる「雇用調

整助成金」も延長されましたが経済活動が低迷の中、「コロナ解雇」の急増が予想されます。厚労省が公表している限りでも8月21日には4万8千人が解雇、雇止めになれています。休業者が失業者になる可能性が更に高まっています。

休業補償金の更なる延長をはじめ、各種給付金、助成金の再給付、抜本的なコロナ対策など、多くの課題が山積しています。

**コロナ感染を
個人責任に丸投げ**

危機的な現状を打開するには国会で必要な議論と法整備が必要です。野党は憲法53条に基づき、臨時国会の開催要求を衆議



院議長に出しましたが、政府・与党は拒否したままです。それどころか、政府の「G.T. キャンペーン」ではクラスター感染が出ています。他方でコロナ対策は今や個人の努力、個人の責任に「まる投げ」状態です。この無策に対し、全国の各自治体ではPCR検査を大幅拡充するなど、懸命の努力が続いています。もう待てません。政府・与党に国会開催、コロナ対策の飛躍的強化を求めましょう。